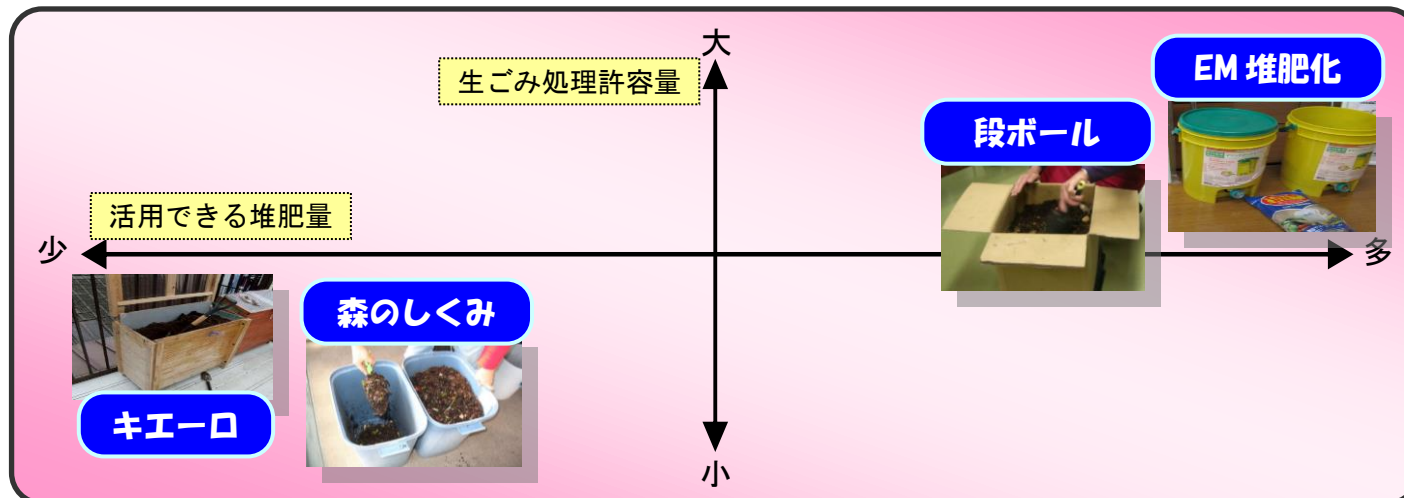


生ごみ減量資器材概要

～あなたにぴったりののはどの方式？～

方式	特徴	必要なスペース（概ね）	こんな人向け
キエーロ	☆発生する堆肥が少ない。 ☆ベランダや庭でできる。 ☆器材ひとつで処理が完結する。 ★多量の生ごみを連続投与することは不可。	幅 70cm 高さ75cm 奥行50cm の機材設置スペース	○堆肥を作ることを目的としない。 ○仕事が多忙で、生ごみを2～3日分ためて処理したい。 ○力を使う持ち運びなどがないので、女性や高齢者でもOK。
森のしくみ	☆できた堆肥を循環利用できる。 ☆堆肥があまり増えない。 ☆途中で休むこともできる。 ★堆肥を乾燥させる手間がある。	幅 40cm 高さ50cm 奥行30cm のポリバケツ2つ分	○生ごみの量が比較的少ない。 ○堆肥を作ることを目的としない。 ○堆肥としても利用できる。
段ボールコンポスト	☆処理量が多くてもOK。 ☆水切り不要。 ☆少ないスペースからでもOK。 ★雨に濡れない場所が必要。	幅 35cm 高さ35cm 奥行35cm の段ボール2箱分	○堆肥を作って園芸を楽しみたい。 ○広いスペースが確保できない。 ○毎日ではなく、自分のペースで取り組みたい。
EM堆肥化	☆処理量が多くてもOK。 ☆堆肥がたくさんできる。 ☆野菜や草花を育てるのに向いている。 ★二次発酵に土がある場所が必要。	高さ30cm 直径25cm のポリバケツ2つ分	○堆肥を作りたい。 ○庭やプランターなど、土の場所がある。 ○草花・野菜を育てている。今後育ててみたい。

【イメージ図（生ごみ処理許容量・活用堆肥量）】



○消滅型の2方式であっても、全く堆肥が発生しないわけではありません。堆肥として使用することも可能です。

○ごみの処理量については、使用する器材での想定される一般的な許容量です。